

明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い致します。前回の編集後記(2022年8月)で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関して、「7月26日現在、第7波の真最中です。新たなオミクロン株であるBA.5への置き換わりが進んでいることが増加の1要因のようです」と記載致しました。その後、第7波は収束しましたが、12月8日現在、第8波の真最中です。水際対策の緩和が増加の1要因なのかもしれません。個人的には11月20日に5回目のワクチン接種(BA.4-5対応)を受けました。先行きは不透明ですが、1日も早く感染状況が収束することを祈念しております。

話は変わりますが、「乾癬における生物学的製剤の使用ガイドンス(2022年版)」が日本皮膚科学会雑誌の2022年9月号に掲載されました。日本皮膚科学会乾癬分子標的薬安全性検討委員会で作成しました。2019年版の作成後、約3年が経過し、新たにリサンキズマブ(IL-23阻害薬)、セルトリズマブ ペゴル(TNF阻害薬)、チルドラキズマブ(IL-23阻害薬)、ビメキズマブ(IL-17阻害薬)の4剤が発売されたことから、今回改訂を行うことにしました。また、TNF阻害薬のバイオシミラー(BS)として承認されているインフリキシマブBSとアダリムマブBSに関しては、使用に際しての注意点を掲載した日本皮膚科学会のホームページを引用しました。

生物学的製剤の治療選択にあたっては、その疾患要因、治療要因、背景要因を十分に吟味勘案し、それらを患者と共有する形で治療選択を決めることが重要です。また、乾癬に使用可能な生物学的製剤にはそれぞれ特徴があり、薬剤選択にあたって考慮すべき点としては、薬剤の効果(強さ、発現の速さ、関節炎への有効性、一次無効、二次無効など)、安全性(感染症、投与時反応、他の併存症との関係など)、患者利便性(通院間隔、自己注射、クリニックでの維持治療、中止および再投与のしやすさなど)、そして患者負担(コスト)などがあげられます。本ガイドンスは、乾癬の診療に精通した皮膚科専門医が、個々の患者に応じてそれらの複数の要因を勘案し、生物学的製剤を適正に使用することを目的として作成されたものです。本ガイドンスの内容が皆様の日常診療に役立つことを祈念しております。

(佐伯秀久)

## — 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

## — 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

### 「皮膚科の臨床」第65巻 第1号 1月号

2023年1月1日発行(毎月1回1日発行)

定価 3,190 円(本体 2,900 円+税 10%)

年間購読料金

定価 48,950 円(本体 44,500 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ [www.kanehara-shuppan.co.jp](http://www.kanehara-shuppan.co.jp)

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

#### ・JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。